

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成20年7月10日(2008.7.10)

【公表番号】特表2008-500390(P2008-500390A)

【公表日】平成20年1月10日(2008.1.10)

【年通号数】公開・登録公報2008-001

【出願番号】特願2007-527488(P2007-527488)

【国際特許分類】

A 6 1 K	45/06	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 K	31/445	(2006.01)
A 6 1 K	31/4468	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 P	25/24	(2006.01)
A 6 1 P	25/18	(2006.01)
A 6 1 P	25/20	(2006.01)
A 6 1 P	25/00	(2006.01)
A 6 1 P	25/22	(2006.01)
A 6 1 P	25/36	(2006.01)
A 6 1 P	25/14	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	45/06	
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 K	31/445	
A 6 1 K	31/4468	
A 6 1 P	43/00	1 1 4
A 6 1 P	43/00	1 0 5
A 6 1 P	25/24	
A 6 1 P	25/18	
A 6 1 P	43/00	1 1 1
A 6 1 P	25/20	
A 6 1 P	25/00	
A 6 1 P	25/22	
A 6 1 P	25/36	
A 6 1 P	25/14	

【手続補正書】

【提出日】平成20年5月16日(2008.5.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

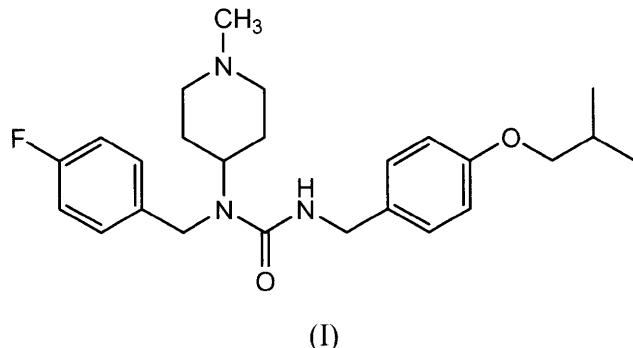
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

化学式(I)の化合物を有する第一の化合物と、

【化1】



睡眠誘発作用薬又はその薬学的に許容可能な塩を有する第二の化合物と
を含む医薬組成物。

【請求項2】

前記睡眠誘発作用薬が、バルビツール酸、ベンゾジアゼピン、直接的GABA作動薬、
GABA受容体の正のアロステリック調節剤、及びベータカルボリンからなる群から選択
される、請求項1に記載の医薬組成物。

【請求項3】

前記睡眠誘発作用薬が、アルプラゾラム、クロルジアゼポキシド、クロラゼペイト、エ
スタゾラム、フルラゼパム、ヒドロキシジン、ロラゼパム、ペントバルビタール、クアゼ
パム、セコバルビタール、テマゼパム、トリアゾラム、ベイリウム、ザレプロン、ゾルピ
デム、ゾピクロン、エスゾピクロン、ザレプロン、ガボキサドール、インディプロン及び
アベカルニルからなる群より選択される、請求項2に記載の医薬組成物。

【請求項4】

患者の不眠症を治療するための、請求項1から3の何れか一項に記載の医薬組成物。